



古仁屋高等学校 二年  
濱田 怜弥  
岩木 乙香  
奥村 芽生  
福沢 あさひ



日本スイーツの聖地  
~よみがえる奄美大島白糖製造工場~



うがみんしょーら。  
こんにちは。古仁屋高校です。皆さんは、古仁屋というところをご存じですか？  
鹿児島市を南に400km下ると、奄美大島があります。



古仁屋高校は、奄美大島の中でも、一番南にある瀬戸内町という町にあります。  
ちょっとここで、古仁屋高校の宣伝をさせてください。古仁屋高校は、現在、全校生徒107人の高校です。生徒も先生も、とても元気で、笑顔が絶えない賑やかな学校で、ご覧のとおりきれいな海やたくさんの自然に囲まれている、素敵な場所にあります。

## 学校紹介動画



教室からも、海が見えるんですよ。みんな、幼なじみのような関係なので、先輩になると「兄ちゃん、姉ちゃん」と呼ばれます。わたしたちはもっと、古仁屋高校の良さを知ってもらいたい。地元の良さを知ってもらいたい。そんな気持ちから、この研究を始めました。では、次に、わたしたちの研究の内容を説明したいと思います。

### 白糖工場とは！ ①



島津斉彬

(演：渡辺 謙 『西郷どん』より)

→ 集成館事業！

＊上みがえる久慈白糖工場

日本スイーツの聖地 ⑤

そもそも白糖工場とは何なのか？まず、こちらの方をご覧ください。白糖の製造を計画し、実験に成功した方です。誰でしょう？  
渡辺謙さん．．．ではなく、島津斉彬さんです。もともと薩摩藩は、黒糖によって大きな利益を得ていました。しかし、黒糖の価値が下がっていったため、集成館事業の一環として、高値で売れる白糖を機械で大量製造することを計画したのです。

### 白糖工場とは！ ②



五代友厚

(演：ディーン・フジオカ『あさが来た』より)

→ 「オオシマ・スキーム」

＊上みがえる久慈白糖工場

日本スイーツの聖地 ⑥

次に、こちらの方をご覧ください。若くして亡くなってしまった斉彬さんの意志を継いで、幕府に内緒で白糖の製造を建白した方です。誰だと思いませんか？  
ディーン・フジオカさん．．．ではなく、五代友厚さんです。世界最先端の工場で製造した白糖を、上海などに売り出し、薩摩の国力を高めようとしてしました。

### 白糖工場とは！ ③



トーマス・ウォートルス  
Thomas Robert Lee Colorado mines  
Denver-Cannon Hunt/Korper,  
est. 1871, c. 1871



大阪造船局の応接所



銀座煉瓦街

＊上みがえる久慈白糖工場

日本スイーツの聖地 ⑦

これをオオシマ・スキームと言います。そして、この工場はご覧のような銀座煉瓦街などを建築したトーマス・ウォートルスさんが奄美までやってきて造りました。



奄美には、この白糖工場が4つ造られたことがわかっています。この中で、わたしたちが研究したのは、古仁屋から一番近い久慈の白糖工場です。そして、今でも、この白糖工場に関する遺跡を、町のあちこちで見ることができます。例えば、これ。

## 白糖工場とは！ ④

↓ 工場に使われていた **レンガ** が、今もあちこちで見られる。



工場の基礎として使われていた切石は、現在も「**白糖石**」として各地で使用されている。

＊よみがえる久留白糖工場

日本スイーツの聖地＊9

工場に使われていたレンガです。さらには、これ。これは、奄美では「白糖石」と呼ばれています。工場の基礎として、鹿児島から運ばれたことがわかっています。これも、奄美の民家などで見られるんですよ。

## 現在の様子



「跡」なのに跡形もない。(埋まってしまっている)

＊よみがえる久留白糖工場

日本スイーツの聖地＊10

けれども、実際の工場は、というと、このようにミカン畑になっていて、「跡」なのに跡形もなく埋まってしまっているのです。僕は、この工場の跡を見たときに、「めちゃくちゃもったいないな。」と思いました。

## 白糖工場をもっと知ってもらうには？

“奄美大島白糖工場跡”は

○ **世界自然遺産並みの観光資源**

→ **日本で最初に近代的な白糖工場が稼働**

＊よみがえる久留白糖工場

日本スイーツの聖地＊11

で、なんでもったいない、と思ったのかというと、「この工場は、世界遺産並みの観光資源になるのかな」と思いました。なんで、そう思ったのかというと、この工場は、日本で一番最初に、あの富岡製糸場よりも早く、近代的な工場として稼働していたからです。

## しかしながら！

・とにかく、跡も埋まってしまって見えない。

・町民ですらその存在を知らない人がほとんど

## どうしよう！

→「**日本スイーツの聖地**」! ?

＊よみがえる久留白糖工場

日本スイーツの聖地＊12

しかしながら、このことは誰も知りません。それに、跡も埋まってしまっていて、何もありません。これを「どうしよう!」と思いました。「なんで、こんなにすごいのに、誰も知らんのやろう。」そう思ったときに、「なんとか売りだそう」って、「どうやったら売り出せるかなあ」と考えたときに、日本で一番最初に砂糖を作った工場だから、「日本スイーツの聖地」として、売り出せるんじゃないか、そう考えました。

## まずは！

○ **白糖工場を身近なものにしたい**

→① **白糖工場の模型を作製する**

→② **小学生向けのバスツアー**

＊よみがえる久留白糖工場

日本スイーツの聖地＊13

まずは、この白糖工場を、身近なものにしたい、そう思いました。で、やっぱり目で見てわからんと、どんなかがわからんので、まずは、模型を作りたいな、と思いました。それに、もっとアピールしたいので、小学生向けのバスツアーも企画しました。



最初に、白糖工場の模型を作りました。  
この模型は、入口の前にあるので、ぜひゆっくりとご覧になってください。この工場の模型なんですけど、うちの校長先生は、工業の専門の先生だったので、協力をいただきました。



これが、工場を作っているときの様子です。これは、僕ら以外の生徒にも、協力してもらいました。そして、ようやく、完成することができました。

## ミッション②

### 白糖工場跡を巡るバスツアー

次に、白糖工場跡を巡るバスツアーを企画しました。

今回はこうしました。

◎ 小学生が楽しんで、学べるように

→ **ハッピーハロウィン!**

**コスプレ参加**

**謎解き**



今回は、小学生がターゲットだったので、小学生が楽しんで学べるようにしようと思いました。で、やっぱり、時期も大事ななあ、ということで、お菓子のイベントと言えば、ハロウィンかなあ、ということで、ハロウィンにしました。で、ハロウィンだからやっぱりコスプレもしてほしいなあ、ということで、コスプレしてもらいました。これは、僕がコスプレしてるところです。小学生がターゲットだったので、小学生に人気のあるアニメのコスプレをさせてもらいました。

◎ **地域にひろげる**

→ **商工会まつり**とコラボ

◎ 「白糖工場跡」だけでは弱い

→ **戦跡 地元に関するクイズ**

◎ **予算0円**

→ **白糖工場を研究している有志の方の協力。**

やっぱり、ポイントポイントを廻るだけでは飽きると思うんで、謎解きのツアーにしました。で、このまま終わらしたらあかんで、地域にもっと広がりを持たせたいと思ったので、商工会まつりっていうイベントがあるんですけど、それとコラボしました。やっぱり、「白糖工場の跡」だけじゃインパクトが全然ないので、地元にある戦跡とか、地元に関するクイズも盛り込みました。で、予算が0円だったので、これは地域の方々の協力を得て、何とかツアーを形にすることができました。



実際のツアーの様子がこちらです。1枚目の「怪盗U」からの挑戦状を子供たちに見せて、謎解きツアーをスタートしました。1枚目から、子供たちが元気よく、明るく読んでくれたのが、とっても嬉しかったです。



1枚目の挑戦状を解読して手安弾薬庫跡に着きました。



中は、このような感じになっていて、湿気の多い奄美ならではの工夫がされていました。それは、壁が二重になっていることです。



その中を、みんなで探検します。じつは、この中にはコウモリがたくさん住んでいて、ハロウィンにはぴったりの感じになりました。

### 実際の動画



次の挑戦状を発見し、みんなで真っ暗な中、読みました。

#### 【映像】

(子供たちの声)「古仁屋の諸君、なかなかやるねえ。しかし、私は白いダイヤモンド工場のヒントをつかんだのだ。クイズに答えて、この謎を解いたら、それがわかる。解けるものなら、解いてみたまえ。」



●上みがえる久慈白糖工場

日本スイーツの聖地 ●23

挑戦状を解読して、たどり着いたのは、久慈の水溜。レンガの上に立っているのが、怪盗Uです。怪盗Uが登場して、子供たちは大騒ぎしましたが、怪盗Uが話し始めると

【映像】

怪盗U：「このレンガの謎は解けたかな？だが、白糖石の謎は解けまい。」



●上みがえる久慈白糖工場

日本スイーツの聖地 ●24

このように、真剣に聞いていました。すごくかわいかったです。



●上みがえる久慈白糖工場

日本スイーツの聖地 ●25

挑戦状を解読して、やっと久慈に到着しました。町内にある白糖石を子供たちに説明していると、なんとまた怪盗Uが登場しました。



●上みがえる久慈白糖工場

日本スイーツの聖地 ●26

これは、子供たちが怪盗Uに近づかないように、オタクのコスプレをしている先生が、必死に止めに入っているところです。



●上みがえる久慈白糖工場

日本スイーツの聖地 ●27

怪盗Uは、いつの間にか消えて行ったので



＊上みがえる入道白糖工場

日本スイーツの聖地 ＊28

みんなで白糖工場跡に行って、埋文センターの方から、説明をしていただきました。



古仁屋高校に戻ってきて、模型を見たり、白糖工場について学んだりしました。ハロウィンイベントだったので、お菓子も配りました。

### 実際の動画



＊上みがえる入道白糖工場

日本スイーツの聖地 ＊30

その後、町で行われていた「せとうち商工祭り」で、研究発表を行いました。

【映像】

発表者：「私たちは白糖工場について調べて、今日、バスツアーを行って子供たちと一緒に白糖工場の見学をしました。」

参加した子供：「古仁屋の皆さん、こんにちは。今日私たちは怪盗Uから挑戦状を受けて、昔々150年前…」この子供たちの後ろに立っているのは、この祭りでボランティアに参加していた、同じ古仁屋高校の生徒たちです。

### 実際の動画



＊上みがえる入道白糖工場

日本スイーツの聖地 ＊31

そして、最後にまた、怪盗Uが登場しました。

【映像】

怪盗U：「発表してくれて、とても嬉しいよ。さて、今度は、奄美の良いところを、ここにいる子供たちだけでなく、この商工会祭りに来てくれた、多くの子供たちに伝えられるように、挑戦状を用意したいと思います。」

白糖工場のことや、奄美、古仁屋高校のことを地域の方々により知ってもらえる、良い機会でした。

### 評価(アンケートより抜粋)

- ・かいとうUがいたからたのしかった。
- ・かいとうUが出てきてなぞをとくのが楽しかった。
- ・かいとうUをおっかけるところ(が楽しかった)
- ・ガイドの人がわかりやすくおしえてくれて楽しかった。

＊上みがえる入道白糖工場

日本スイーツの聖地 ＊32

ツアーに参加した子供たちや、保護者の方に、アンケートを書いてもらいました。すると、このように「楽しかった」という答えが100%でした。そのほとんどが怪盗Uに関する感想でした。自分たちが「どうやったら、楽しんでもらえるかなあ」と、一生懸命考えたことが、このように形になったことが、とっても嬉しかったし、やって良かったなあ、と思いました。

評価(アンケートより抜粋 保護者の方)

- ・子どもたちが夢中で、いい伝承方法だと思った。
- ・なかなか自分たちでは行かない場所に行き説明をしてもらえて歴史にふれることができたのが良かった
- ・商工会まつりでの発表まで、もう少し時間を抑えられればもっと良かった

＊よみがえる久慈白糠工場

日本スイーツの聖地 33

このツアーの改善点としては、時間配分をしっかりとっていくことだと思います。

報道もされました



そして…

＊よみがえる久慈白糠工場

日本スイーツの聖地 34

そのツアーの様子も大きく報道されました。

久慈で講演会も開催！



＊よみがえる久慈白糠工場

日本スイーツの聖地 35

久慈で、大島支庁の方が講演会を開いた際、私たちがプレゼンをする機会をいただきました。



＊よみがえる久慈白糠工場

日本スイーツの聖地 36

久慈の婦人会の皆様から、たくさんのおもてなしをしていただいて、すごく美味しくいただきました。

次のミッション

1. 学校で行事化 → まずは、ハロウィンコース
2. 部活動にする →
  - (1) イベントの中心となる
  - (2) 白糖工場跡など近代遺跡の研究をする
  - (3) 小・中・高や埋蔵文化財センターと連携し、発掘・研究を進める。
3. 観光コースづくり → 観光パンフレットに掲載。
4. 地元のお菓子メーカーとスイーツ開発  
いかにして関係団体の協力を得るかが重要

＊よみがえる久慈白糠工場

日本スイーツの聖地 37

今後は、ご覧のようなミッションを考えています。特に3番の観光コースづくりについては、地域の方々だけでなく、「これから奄美に行きたいなー」と思っている人たちが目につくような観光コースを作りたいと思っています。ただ自分たちの力だけでは、どうにもならない部分が出てきてしまうので、そこをクリアするために、今回、埋文センターの方から協力をいただいたように、関係団体の協力を得る必要があります。



奄美大島5市町村と奄美大島観光物産連盟の  
パンフレット作成に参画



＊上みがえる大島白糖工場

日本スイーツの聖地＊39

実際に、企業の方々のパンフレット作成のお手伝いを  
させていただいていて、白糖工場跡や、瀬戸内町のお  
勧めスポットを盛り込んだコースを考えています。  
もし、瀬戸内町にいらっしゃることがあれば、ぜひ、  
私たちに声をかけてください。  
マスコミの方々の取材も待っています！

おわり



＊上みがえる大島白糖工場

日本スイーツの聖地＊39

以上で、私たちの発表を終わります。  
ご静聴、ありがとうございました！ありがとうございました。

講 評

仙巖園学芸員  
岩川 拓夫 様



今回は11のグループが各課題に取り組んで、まとめたりとか、やってみたりとかしている  
のが、ホワイエの出ですぐのところにあって、皆さまご覧になっていると思いますが。そ  
の中で2種類。しかも、別系統のものをやりきっているという。この素晴らしさは古仁屋  
高校さんは極めて優秀な時間の使い方、時間の味わい方になったのではないかと思ってい  
ます。8月の後半から、3、4ヶ月という期間で、いわばどこまで挑めるか。で、しっか  
り作ってます。

白糖石やレンガだけしかない状況の課題から、いわゆる「見える化」をして目標を作っ  
てみよう。そこから学ぶためのバスツアーをやってみよう。しかも、バスツアーをより楽し  
くするためにコスプレしたり、なぞときをやってみたり。なんでもかんでもガーッと入れ  
る。商工会の祭りの一環とする。そこまでのいろいろと詰め込むことができる。そのパワー  
というのを、すごく情熱を感じました。

それは、背景として一緒にジオラマ作ってくださった校長先生や、県の田中 完さんとか、  
あとは商工会の皆さま方、そして何よりも同じ学校の皆さんの協力があったのことだと思  
います。ただ、それを協力しようと思えるだけの情熱を、皆さんが持っていたからこそだ  
と思いますし、今回の報告も、動画とかジオラマとか使ってわかりやすく、楽しく報告し  
ていたのも、すごく魅力的な時間でした。

さらに、この報告で終わらずに、次の企画に向かっている現状。今後も古仁屋を、古仁屋  
から奄美を、そして奄美から鹿児島県内を、そして日本を盛り上げて行っていただくこ  
とを、すごく期待しています。本当にお疲れ様でした。おめでとうございます。

大口高等学校 二年

前原 亜弥香

山下 紗矢

瓦 渚沙

黒木 千春

優  
秀  
賞



私たちは「曾木の滝と明治維新」について調べました。大河ドラマ「西郷どん」が放送され、鹿児島県の明治維新の頃に注目が集まったので、地元の伊佐市ではどうだったのかと思い調べました。その中で、特に注目したいと思ったのが、フォトジェニックスポットとして注目を浴びている曾木発電所遺構です。明治維新におけるこの地域の近代化の到達点と言えるのではないかと考えました。また、調べてみると天保期に川内川の川浚えがあったことを知りました。今回調べてわかったことを、多くの人に知ってもらい、伊佐地方の魅力を発信し、地域活性化に繋がっていきたいと考えました。



私たちは、川浚えについて調べました。川浚えとは、川底にある岩などを取り除くことです。川浚えを行うことで、宮之城から伊佐地方まで船が通れるようになりました。

### 堀之内 良眼房

- ▶堀之内良眼房は、文化5年(1808)大口に生まれた。
- ▶西原八幡神社宮司で、勸農事業の推進に取り組んだ。

この工事の中心となった人物は、堀之内 良眼房です。堀之内 良眼房は、西原八幡神社の宮司で、農民の困窮ぶりを見て、農民のための勸農事業の推進に取り組みました。

### 堀之内良眼房が行った農民救済策

- ①上納米運搬の困難の除去
- ②180頭の牛馬を導入し、農家に貸し付ける
- ③湿田の排水工事と灌漑用貯水池を築く



堀之内 良眼房が行った農民救済策として

- ①上納米、つまり年貢米の困難の除去  
藩の倉を宮之城から曾木の滝下流の下木場に移し、船が通れるように川内川の水路を開発する。つまり、川浚えを行うことです。
- ②藩金300両を借用して180頭の牛馬を導入し、農家に貸し付けること
- ③大口目丸の湿田30町歩の排水工事をするとともに、灌漑用貯水池を築くことです。

左の写真が、現在目丸にある灌漑用貯水池と、右の写真が良眼房が宮司を務めていた神社です。

### 川浚え事業にいたるまで

- ▶家老の調所広郷から許可をもらい、当面の資金として500両をもらう(総工事費は2000両)
- ▶天保13年(1842)1月17日、鶴田郷神子轟から工事を始める

川浚え事業にいたるまで。

1830年からの天保年間には災害が相次ぎ、農民は苦しい生活を強いられ、夜逃げする者も多かったです。

そのような状況に対して、良眼房は農民救済策を考えました。この計画は、家老の調所広郷の耳に入り、良眼房は家老から呼び出しを受け、農民救済としての川浚え事業の必要性を訴え、納得してもらい、当面の資金として500両をもらうことができました。

そして、天保13年。1842年1月17日、鶴田郷神子轟から工事を始めました。



福崎乗之介の墓  
福崎乗之介は、大勢の人の中で嘲笑し、罵声を浴びせた。



工事の完成後、福崎は侮辱的な言葉を言ったことを深く恥じ、自宅で切腹した。

この写真は、工事に反対した、曾木にある福崎 乗之介の墓です。福崎 乗之介は、良眼房に対して「これが成功したらひょうたんで腹を切る」とも言い、良眼房は「殺してやりたい」と思いましたが、涙を飲み、家に帰りました。福崎は、友人らに事の次第を語り、大笑いしました。しかし、工事が完成し、福崎は良眼房に対してあまりに侮辱的な言葉を吐いたことを深く恥じ、自宅で切腹してその罪を謝しました。

### 川浚え工事について

▶ 当時の川には、奇岩怪石が多く立ち並び、人畜も通過困難であった。

- ① 焼石工法
- ② 合図方法の確認



川浚え工事について。当時の川には、奇岩怪石が多く立ち並び、人畜も通過困難でした。

当時用いられた焼石工法について説明します。ダイナマイトも無かった時代だったため、石の上で火をどんどん焼き、冷たい水で急冷することでヒビを作り、それに沿って次々とくさびを打ち込み石を割る、焼石工法が用いられました。

この焼石工法を用いて活躍した石工の一人が権太郎です。この写真は、曾木の滝公園にある権太郎石のレプリカです。

当時用いられた合図方法の確認について説明します。当時は竹の節を抜いた竿を使って話したり、竹でメガホンに似た器具を作ったり、遠方へは5色の旗の色と記号を定め、合図しあいました。当時としては新しく、珍しい方法でした。



これは、神子轟の航空写真です。岩場の上流の高さは3メートル。下流は6メートルの高さがあり、長さは約110メートルです。船の通る水路幅は約3メートルです。

### 川浚え工事の結果

- ▶ 藩倉庫(米蔵)の建設に取り掛かった。
- ▶ 天保14年(1843年)7月には、7庫の米蔵が、上の倉と下の倉の2カ所に分散して完成した。



川浚え工事の結果、農民はその後、藩倉庫の建設に取りかかりました。木材の伐採や地開き、石垣積みなど精力的な作業努力により、天保14年7月には、7庫の米蔵が上の倉と下の倉の2カ所に分散して完成しました。

左の写真は下木場の上の倉跡で、右の写真は船着き場です。

- ▶ 山坂の狭い山道を農民は年貢米を馬の背に乗せ運ぶ必要があった。
- ▶ 宮之城に到着しても年貢を納めるまでに2、3日かかることも多かった。



- ▶ 天保14年(1843年)9月10日巳の刻に年貢米を乗せた船が出発した。
- ▶ その船は、**2時間**で船着き場に着いた。

川浚え工事が行われる前は、石ころの多い狭い山道を農民は年貢米を馬の背に乗せ運ぶ必要がありました。さらに、宮之城に到着しても年貢を納めるまでに2、3日かかることも多かったです。

天保14年9月10日巳の刻、今の午前9時に年貢米を乗せた船が出発しました。その船は、2時間で船着き場に着きました。農民は、重たい年貢米を運ぶ必要はなくなりました。



## 曾木発電所について

私たちは、曾木発電所について調べました。

### きっかけ

野口 遵が電気会社の設立を持ちかけられる

↓  
内容 牛尾・大口・新牛尾の3つの金山に電気が必要のため発電所をつくってほしい

↓  
問題 800キロぐらいの機械に20万円かかるが一文もない

↓  
解決 シーメンス社から機械を買い、後払いにする

数々の電力関連の事業に参画していた野口 遵に話を持ちかけられました。ちなみに、野口 遵は後に旭化成を創った人です。

はじめに、鹿児島で鉱山をしている人の間で、牛尾・大口・新牛尾の3つの金山に、排水のため電気がほしいため、曾木の滝の水力を利用して発電所を創りたいという話がありました。

発電所を創るためには、800キロワットほどの機械を1つそなえなければなりません。その機械は当時20万円かかるそうでしたが、地元の人たちは、お金を持っていませんでした。そのため彼らが考えたのは、シーメンス会社から機械を買い、後払いするというものでした。「機械を持っていれば何とかかなる」と考えました。

### 発電所について

	第一発電所	第二発電所
送電開始	明治40年(1907年)10月	明治42年(1909年)10月
出力	880kW	6,360kW
発電機	800kW (シーメンス・シュッケルト社製)	1,500kW (シーメンス・シュッケルト社製)
水車	1,250馬力 (フォイト社製)	2,250馬力×4基 (フォイト社製)
送電線 電圧 送電距離	11,000V 34.8km	20,000V 34.8km
現在	水害に遭い、遺構は流されるが、導水路跡は散策路として整備	補強工事などが行われ、平成17年に国の登録有形文化財となる

第一発電所は明治40年10月に送電を開始し、880キロワットの出力で、発電機はシーメンス・シュッケルト社製のものを使用していました。現在は、水害にあって建物はありませんが、導水路跡は曾木の滝公園内の散策路として整備されています。

第二発電所は明治42年に送電を開始し、6,360キロワットの出力で、発電機は第一発電所と同様、シーメンス・シュッケルト社製を使用していました。昭和42年の鶴田ダムの完成により水没し朽ち果てていましたが、その後は補強工事が行われ、平成17年に国の登録有形文化財となりました。



これが曾木の滝公園内にある第一発電所の導水路跡です。



これが第一発電所の発電機へ水を落とすパイプが設置されていた所です。

これが当時の第二発電所です。

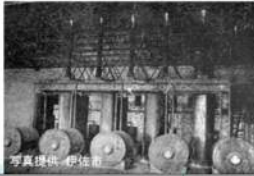


これは、当時使われていたシーメンス・シュッケルト社製の発電機です。

これが現在の第二曾木発電所の遺構です。

### カーバイト工場について

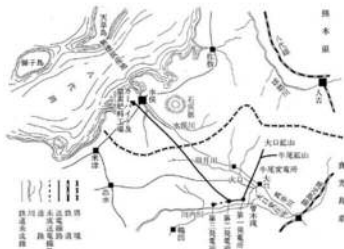
第一発電所の発電量の半分は消費されず  
↓  
水俣にカーバイト工場設立(明治41年(1908年))  
↓  
第二発電所を設立し、  
水俣工場に送電を開始  
(明治41年8月)  
↓  
カーバイト工場は月産  
15トンの製品を出した



ところで、曾木発電所で発電された電気は、近隣の金山で消費されましたが、じつはその半分しか消費できず、他の半分はなんらかの形で新しい需要を開拓しなければなりません。

したがって、野口 遵はこの余剰電力をカーバイト工場に求めました。そして、明治41年に水俣にカーバイト工場を設立し、同年の8月に水俣工場に送電を開始しました。

この工場が後に「日本チッソ株式会社」現在のJNCとなります。



〔出〕 2001年5月24日  
〔原〕 『電力の文化』241頁、349～51  
『明治化』六十年度版より

これが水俣までの送電線の地図です。

今回の研究を通して、伊佐地方の歴史から明治維新との関わりを考えました。

曾木発電所は、明治期の発電という産業の近代化の一つの到達地点でした。その原点を考えると、1830年から1843年の天保年間で新田開発などの農業を中心とした殖産興業が盛んであったといえることが言えます。その一つが、堀之内 良眼房の川浚え工事です。

これが伊佐地方での明治維新に向かっていく殖産興業の原点と言えます。

## 研究成果の発表

①第10回伊佐市青少年健全育成大会兼伊佐さわやかあいさつ運動推進大会



②第57回曾木の滝公園「もみじ祭り」



この研究の成果を、伊佐市での大会ともみじ祭で発表しました。この日までに調査をした川浚えと、曾木発電所について発表しました。わかりやすく、伊佐地方の歴史を伝えられたのではないかと思います。

## 川浚え工事をしてどうなったの???

川浚え工事をしてどうなったの???

川浚え工事とは、川を深く広く掘削して、水の流れをよくし、洪水を防ぐための工事です。川浚え工事によって、川の水位が下がるとともに、川の底が深く掘削されたことで、川の底に沈んでいた土砂やゴミが洗い流され、川の水がきれいになりました。また、川の底が深く掘削されたことで、川の底に沈んでいた土砂やゴミが洗い流され、川の水がきれいになりました。

川浚え工事によって、川の水位が下がるとともに、川の底が深く掘削されたことで、川の底に沈んでいた土砂やゴミが洗い流され、川の水がきれいになりました。また、川の底が深く掘削されたことで、川の底に沈んでいた土砂やゴミが洗い流され、川の水がきれいになりました。

特にもみじ祭では、もみじ祭のパンフレットとともに、川浚えと曾木発電所について説明をしたプリントと一緒に配布しました。イラストや写真を用いて、興味を持ってもらえる内容にしました。

## 今後の展開

- ①水面からの案内  
(サップ、カヌー体験での案内)
- ②伊佐市観光特産協会の  
夏季限定！『幻の発電所遺構』ツアーでの案内
- ③伊佐市観光ボランティアガイドの会  
「伊佐の風」に若い力を  
課題

水俣とどうのようにかかわっていくか

様々な団体が曾木発電所遺構周辺で活動を行っていますが、歴史的な背景にまで触れることがなかなかできていません。そこで、曾木の滝周辺の歴史的な背景を説明して、遺構の意義や伊佐の魅力に気付いてもらいたいです。

そこで、各団体の活動を歴史で繋ぐことが、私たちにできることではないかと考え、3つの事を提案します。

- ①水面からの案内 (サップ、カヌー体験での案内)
- ②伊佐市観光特産協会が行っている夏季限定「幻の発電所遺構」ツアーでの案内
- ③伊佐市観光ボランティアガイドの会「伊佐の風」に若い力を

課題としては、カーバイト工場のあった水俣との関わりをどのようにしていくかが課題です。産業の近代化というと、一見輝かしいものに思いますが、その影として、公害病すなわち水俣病の原点の地でもあるという視点も忘れてはならない、と考えています。



ご静聴ありがとうございました。

## 講 評

郷土史研究アシスタント  
下豊留 佳奈 様



はきはきとした発表で頼もしいなと思いましたし、今、皆さんの発表を聞いていた会場の皆さんも「大口に行きたいな」と思っていただけたんじゃないかな、と思います。

まず、勉学と部活等を両立しながら研究をすすめて、短期間の中で伊佐市青少年健全育成大会ともみじ祭の2会場での発表という実績を、皆さんが残したということが素晴らしいと思いますし、評価すべきポイントでした。ぜひ、地元のお祭りでの発表は今回で終わらせずに、毎年恒例にさせていただいたら大変嬉しいです。

今回のテーマが殖産興業ということで、明治維新时期だけではなくて維新後のことについても調べていて、伊佐市の歴史が大変よくわかったと思います。実際に皆さんが研究をまとめた資料も拝見しましたが、地図や写真を活用してまとめられていてとても読み応えがありましたし、本で調べる座学だけではなくて、複数の方や団体に聞き取りをして大変研究に深みが出ていたと思います。

今回、テーマで川浚え工事を扱ったというところが面白い着眼点だなと思っていて、こういう地域の身近な歴史を、地元も方にこれからも伝えていってほしいです。

発表でもありましたが、福崎が堀之内の工事に反対したということでしたが、福崎をはじめ反対運動をしていた人は、どういった意見で反対したのか、そういう立場を替えて考えてみて掘り下げると、もっと面白くなるかな、と思いました。

今回、明治維新时期の研究発表ということで、調所広郷が他にもどのようなインフラ整備をしていたのかについても調べてみると、当時の状況が良くわかると思います。

曾木発電所遺構の方ですが、フォトジェニックスポットとして第二発電所遺構は今でも大変有名なんですけど、第一発電所についても、インスタ映えするスポットですよ、ということをもみじ祭で皆さん紹介しておられて、SNSと絡めているところが大変高校生らしい視点だな、という風に思いました。皆さんで第一発電所の遺構の方も、インスタ映えスポットとしてどんどんひろめていっていただきたいです。けっこうインスタ映えとか写真映えするだけではなくて、「この遺構にはこういう物語があるんだよ」という説明をぜひ今後も展開していただいて、ガイドとして実践していただきたいと思います。

皆さんもおしゃっていましたが、産業遺産は見るだけでわかるものではなくて、説明を聞いてやっと価値がわかるようなものだと思いますし、課題にも設定していらっしゃると思いますが、産業遺産には光の部分もあれば影の部分もありますので、負の遺産も一緒に今後も産業遺産の研究を続けていってほしいな、と思います。

ぜひ観光客の方はもちろんですけど、まずは学校のお友達にも地域の魅力を伝えていってください。

皆さんの発表を聞いていて、皆さんだけの代で終わらせてしまうのはもったいない研究だなというふうに思いましたので、ぜひ後輩の方にも活動を引き継いでいってもらったら嬉しいと思いました。

今後の皆さんの活動に期待しております。本当にお疲れ様でした。



沖永良部高等学校 二年

内山 希生  
久松 紀代夏  
宮元 美法

優  
秀  
賞



私たちは、沖永良部高校の内山希生です。久松紀代夏です。宮元美法です。今回は、このような発表の場を与えていただき、ありがとうございます。しっかりと伝わるように精一杯発表するので、よろしくお願いします。

それでは、発表させていただきます。今回私たちは「西郷どん体験」in沖永良部というテーマで、沖永良部に流されてきた西郷について調べ、その調査内容をもとに、沖永良部島での観光に関する企画をたてることに取り組みました。

## はじめに

### ◎研究の動機

- ・ 明治維新150周年、「西郷どん」ブームと沖永良部ロケ
  - ⇒ 実際はよく知らない自分たち
  - ⇒ 詳しく知りたい！！

### ※沖永良部の西郷

- ・ 1862年沖永良部に配流
  - ⇒ 1864年鹿児島へ帰る
- \* 滞在はわずか1年半だが、  
沖永良部の発展に大きな影響



このようなテーマ内容としたのは、やはり平成30年が明治維新150周年であったこと。そして、大河ドラマ「西郷どん」の放送があり、そのロケが沖永良部で行われたことがきっかけです。

西郷隆盛が沖永良部にいたのは、1862年の10月から1864年の3月まで、わずか1年半です。しかし、この1年半で西郷はその後の沖永良部に大きな影響を与えました。そこで私たちは、その1年半で西郷隆盛が沖永良部に残した人材と制度を紹介したいと思います。

西郷の像と言ったら、皆さんは東京・上野か、鹿児島にあるものを思い浮かべるとと思いますが、画像にありますように沖永良部にある西郷隆盛の像はやせ細っています。これは沖永良部でしか見られないので、またこれも沖永良部の魅力だと思います。沖永良部に来た際には、ぜひご覧になってください。

## 研究の実際 1. 土持政照について

### ◎土持政照

島役人（間切横目役）として西郷の世話にあたる。  
義兄弟の契りも交わし、維新以降の西郷とも交流。  
沖永良部のリーダーとなる。



### \* 新発見

土持の奥さんは大久保利通の義妹！

↓

土持は西郷とも大久保とも義兄弟！



沖永良部での西郷を語るには、なくてはならない人物がいます。それは土持政照です。幼少期は、薩摩で教育を受けていた土持は、のち沖永良部に戻り、西郷が流された当時は間切横目、今の警察官の仕事をしていました。土持は島津久光が出した遠島命令書の中に「困いに入れよ」と書いてあることを利用し、屋内の座敷牢を作って西郷を救っています。

西郷は土持に感謝し、その人間性を信頼し、杯を交わして義兄弟となり、多くの教えを受けました。写真は、西郷隆盛と土持政照が、義兄弟の杯を交わしているものです。

土持はやがて沖永良部の戸長となり、その後も和泊村の初代村長となるなど、沖永良部にはなくてはならない人物です。その土持に関して、私たちはびっくりするのを知りました。土持の奥さんのマツさんは、大久保利通の父親が沖永良部に代官付として来ていた時に島の奥さんとの間に産まれた娘だったということです。

ということは、土持政照は、大久保利通とも義理の兄弟と言えます。

西郷、大久保と義兄弟となる人物は、日本でも土持一人ではないでしょうか。

## 研究の実際 2. 西郷が残したもの

### (1) 人材・教育

#### ① 人材

- ・ 座敷牢で青少年に講義  
⇒ **核となる人材の育成**  
(島のリーダー的存在へ)



#### ② 教育

- ・ 西郷の弟子たちによる学習会  
⇒ **次世代へとつなげる教育**  
(現在の教育熱の原点)



元気を取り戻した西郷は島の青少年にお願いされて、写真にあるように座敷牢越しに講義を始めます。

20人ほどの生徒達は、やがて沖永良部の中心人物や、医者、教育者などとなって沖永良部の発展を支えました。

明治には、その生徒たちが勉強会を開くようになり、次の世代を育てるようになります。沖永良部は教育に熱心な島だと言われていますが、その基礎には西郷の行った教育があるように思います。

## 研究の実際 2. 西郷が残したもの

### (2) 制度

#### ① 役人の心得：「与人役大躰」「間切横目大躰」

- ・ 役人は私欲をもつことなく、民衆をかわいがるのが大切
- ・ 警察は取り締まることより、未然に防ぐことを重視すべき

#### ② 経済政策：「社倉趣意書」

- ・ 日本初の共済組合、全島民が対象、  
飢饉対策や奨学事業など沖永良部の発展に大きく活用

西郷が土持に残した教えが沖永良部の発展に大きく関係していることもわかりました。まず西郷は土持に「与人役大躰」「間切横目大躰」を与え、上に立つ者の戒めを残しました。そこには、村長役である与人は、私欲を持つてはならないこと。警察官である横目は、取り締まりよりも犯罪を未然に防ぐことに力を注ぐように伝えています。

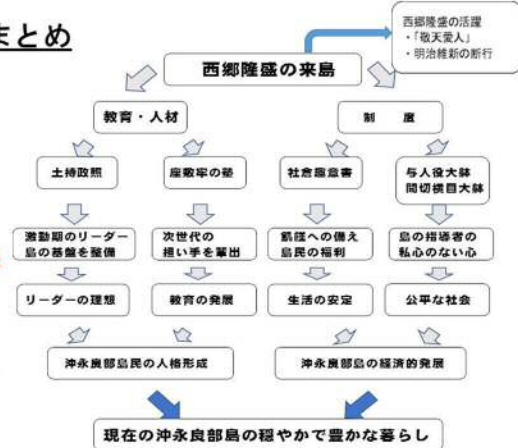
また、飢饉対策として社倉を作ることを土持に提案しています。社倉は全島民が米を出し合い、それを元に助け合う仕組みで、日本初の共済組合になるそうです。

実際に明治に入ってすぐ与人に昇進していた土持が社倉を設立し、飢饉対策だけでなく、資金を貸し出したり、若者への奨学金を支給するなど、沖永良部の経済的な発展を支えています。

## 研究の実際 3. まとめ

### ◎研究の結論

- ・ 沖永良部なくして  
明治維新なし
  - ・ 西郷から始まる  
沖永良部の発展
- ↓
- 島と明治維新は  
大きく関わっている



私たちは調査をすすめていく上で、「沖永良部なくして明治維新なし」という結論を持ちました。沖永良部でもし西郷が土持政照をはじめとする島の人々に支えられることなく命を落としていたら、明治維新はうまくいかなかったかもしれません。英気を養い、沖永良部で「敬天愛人」の思想にたどり着いた西郷さんが、その後、明治維新を成し遂げたと考えると、決して大げさではないように思います。また、「西郷から始まる沖永良部の発展」という結論を持ちました。西郷が、土持や若い人材を残したことで、その人材が沖永良部を発展させただけでなく次世代も育成したこと。さらに、島民を大事にする指導者や、島民がお互いに助け合う社倉などの制度を残したことが、沖永良部の経済発展へとつながっていると思います。これらが受け継がれて、私たちが今の沖永良部で穏やかで豊かに暮らしていることへと受け継がれていると思います。

## 企画の提案 1. 企画のコンセプト

- (1) 観光客向け
  - ・ 島の魅力を伝える
- (2) 地元小学生向け
  - ・ 島の歴史を伝える

### \* 課題

西郷の足跡は  
 率があった和泊周辺に限定的  
 ⇒ 全島的な取組へ拡大する工夫が必要



私たちは、研究を踏まえて、テーマの「西郷どん体験」を実現できる企画について考えてみました。

企画のコンセプトは2つあります。

まず1つ目は観光客に沖永良部の魅力を伝えることです。沖永良部には手つかずの自然や美しい風景が多く、ドラマ「西郷どん」のロケも多くのシーンは沖永良部島で撮影されました。それを観光客に味わってもらいたいと思いました。

2つ目は、西郷隆盛や土持政照などの沖永良部の先人について子供たちに知ってもらうことです。今回調べて沖永良部の歴史を知り、島への愛着がいつそわいたので、ぜひ島の小学生にも知ってもらい、誇りに感じてほしいと思いました。

しかし、観光面での問題点は、西郷さんの行動範囲が和泊地区に限定的なことで、島全体の取組にするためには工夫が必要だと感じました。

## 企画の提案 2. 観光客向け企画（1）

### \* 『西郷体験』和泊ラリー ～西郷さんと座禅を組もう！～

- ① ねらい
  - ・ 西郷隆盛に関する遺跡を回り、西郷体験を味わう
- ② 特徴、工夫
  - ・ 短時間で回れるコース設定  
（飛行機・船の待ち時間や、観光の空き時間も活用）
  - ・ 復元牢への「入牢体験」  
（記念写真も可能）

そこで、私たちは観光客用の企画を2つ用意することにしました。西郷さんを十分に感じてもらう和泊地区限定のショートコースと、それを含んだ島全体をまわるコースです。まず1つ目は「西郷体験」和泊ラリーです。「西郷さんと座禅を組もう！」というサブタイトルのもと、西郷南洲記念館を中心に西郷さんに直接関わる遺跡をまわります。最後は記念館前の復元牢に入って銅像の西郷さんとともに座禅を組みながら思いを馳せる西郷体験です。このコースは、あえて短時間に設定して、飛行機や船の出発までの待ち時間や、他の目的をもった観光客が利用しやすいように工夫しました。

## 企画の提案 2. 観光客向け企画（1）

### \* 西郷関連遺構

- ① 西郷南洲記念館  
及び「復元牢」  
（スタート、ゴール地点）
- ② 南洲神社
- ③ 社倉跡
- ④ 大飯屋跡
- ⑤ 土持政照誕生地
- ⑥ 西郷蘇鉄
- ⑦ 操家屋敷跡
- ⑧ 土持政照の墓



狭い地域なので、車もありません。スタートとゴールは記念館とし、チェックポイントも設けず、自己申告制にして簡単に取り組めるようにしました。

## 企画の提案 2. 観光客向け企画（2）

### \* 沖永良部『インスタ』ラリー

～癒やしの島で「西郷」と「絶景」を巡ろう～

- ①ねらい
  - ・「西郷」のほか、島全体の「手付かずの自然」も味わう
- ②特徴，工夫
  - ・観光客の持ち時間に合わせ、自由に回れるコース設定。
  - ・「インスタ映え」する写真をスタンプ代わりにする。
  - ・観光客は写真で「インスタ大賞」に応募し、受賞者に記念品を贈呈，応募写真は島の観光のPRに使用する。

観光客対象の2つ目の企画は、沖永良部「インスタ」ラリーです。

ドラマ「西郷どん」のロケ地などもコースに含めることで、島全体の取組にすることができました。「癒やしの島で『西郷』と『絶景』を巡ろう」というサブタイトルのもと、西郷さんだけでなく島の自然豊かな景色や風土が体験できます。

各チェックポイントでは、スタンプ台などは設けずに、観光客に自撮りで撮影してもらいその写真を観光協会で確認します。さらに、観光客が撮影した写真から、年に1回「沖永良部インスタ大賞」を選び、受賞者に商品として地元の特産品などの記念品を贈呈すれば観光客のモチベーションを高められるのではないのでしょうか。

また、観光客の撮った写真は、町や観光協会のホームページで使えば、島の観光PRの面からも一石二鳥だと考えます。

## 企画の提案 2. 観光客向け企画（2）

### △西郷関連

- A 和泊地区
- B 伊延港（上陸地）
- C 田舎（移住予定地）
- D 西原（川口の住居）

### □「西郷どん」ロケ地

- E 正名海岸
- F 半崎
- G ワンジョビーチ
- H フーチャ



地図でわかるとおり，△で囲んだ「西郷関連」と，□で囲んだ「西郷どん」ロケ地が，バランスよくまわれるようになっています。

## 企画の提案 3. 小学生向け企画

### \* 西郷ウォークラリー ～西郷先生が歩いた道～

- ①ねらい
  - ・小学生に西郷隆盛や島の先人たちのことを伝えていく。
  - ・中学生，高校生も加わる「沖永良部版・郷中教育」。
- ②特徴，工夫
  - ・沖永良部（和泊町）の「肝心（ちむぐる）教育」と連動。
  - ・西郷隆盛が来島した時期に合わせる。

最後の3つ目は小学生向け企画の「西郷ウォークラリー」です。島の子供たちに西郷隆盛や土持政照など島の偉大な先人を中心に、島の歴史を知ってもらうのが目的です。

和泊町では、小学校低学年の時に西郷や郷土の先人について学ぶ「肝心（ちむぐる）教育」を受けます。

### 企画の提案 3. 小学生向け企画



伊延港 (上陸地, スタート)  
⇒西郷の歩いた道  
⇒和泊地区 (ゴール: 南洲神社)

その延長としての企画で、実際に西郷が沖永良部についての伊延港から和泊まで、西郷が歩いた道をたどります。  
また、西郷南洲記念館や南洲神社で説明や講話を聞くことで、より理解を深めることができます。さらに、中学生・高校生がボランティアとして参加することで、沖永良部版・郷中教育の役割も担えると考えます。

### 企画の提案 4. 企画実施に向けての課題

#### ① 経費の負担

- ・周知のためのHP運営やチラシ、ポスター等  
⇒経費の負担をどこが担うか？

#### ② 提携店やスポンサー企業

- ・観光客に提供する「食」の開発や、各種のクーポンや景品等  
の提供元となるスポンサーをどれだけ募集できるか？

#### ③ 持続性

- ・一時的な企画で終わらせない取組にしたい。  
⇒行政や観光協会との連携をどうするか？

これらの3つの企画を実施するためには、いくつかの課題があることもわかりました。まず1つ目は経費を誰が負担するのか、ということです。特に、観光客向けの企画を知ってもらうためのホームページの運営や、ポスターや大量のチラシの準備に多くの費用がかかりますが、その負担をどこが持つかが課題です。

2つ目は提携店やスポンサー企業をどうするか、ということです。例えばせっかく来た観光客に提供する美味しい地元料理の開発や、クーポン券などでお得に食事ができたりするお店が必要です。また、インスタ大賞などで景品等を提供してくれるスポンサー企業が必要になります。どれだけの協力が得られるかが大切だと感じました。

3つ目は持続性です。一時的な企画で終わらせないためには、やっぱり町や観光協会などのサポートをお願いする必要があると考えました。

## おわりに

◎研究を通じてわかったこと

- ① **西郷隆盛と沖永良部の関係性**
  - ・ 現在も西郷の「遺産」がたくさん残る
- ② **歴史を伝えていくこと**
  - ・ 先人の努力の先にある今の幸せな生活  
⇒ 次世代にも残していく必要がある
- ③ **島の未来を考えることの楽しさと大切さ**
  - ・ 私たちに出来ることを具体的に考えたい



まとめになりますが、私たちはこの研究を通じて多くのことを知り、学びました。特に、沖永良部で西郷が関わったことが現在のわたしたちにつながっていることを感じました。だからこそ、西郷をはじめ島の先人たちのことを次の世代に残していくことが大切だと感じました。また、島の活性化を考えることは、とても楽しいことでした。決して簡単なことではなかったですが、企画を考え、未来を想像する作業はとても勉強になりました。

私たちは、今回の「維新未来博」への参加を通じて、多くのことが学びました。これらの全ての経験を活かして、沖永良部島の活性化に貢献できるようにがんばりたいと思います。



これで私たちの発表を終わります。  
ご静聴ありがとうございました。



## 講 評

(株)宙の駅 代表取締役  
本田 静 様



今、発表してくださった沖永良部高校の皆さんをはじめ、エントリーしてくださった高校の方たちは、8月17日に事前学習会というのを鹿児島市内で行っております。そこから私たち3人を含めて関わらせていただいておりますが、じつは8月17日の事前学習会が終わった後の8月30日に沖永良部に行ってみました。沖永良部からは、事前学習の時は1人鹿児島市に来られて、1人で一生懸命事前学習を受けて「こんな企画したらどうか」「あんなことできないかな」というのを考えていらっしやいました。「沖永良部は私も行ったことがないから、行ってみようかな」と思って、その月の月末に実際行ってみました。

今、発表があったように、西郷さんゆかりの場所っていうのはやはり和泊を中心にありまして、島全体に膨らますっていうのは、私も「課題だな」と思っておりますので、今回、この研究発表がどのような形になるのかっていうのを、非常に興味深く拝見させていただいたところですよ。

評価が高かった点は、いくつかありまして、やはり西郷隆盛と島の人たちとの関わりを、島全体に広げて、観光客に島の隅々まで足を延ばしてもらうにはどうしたらいいかっていうのを考えた工夫。これが1点目。

そしてもう1つが、旅行の企画・観光の企画を考える時に、とかく「観光客のために」「よそから来た人のために」と考えがちですが、「地元の子供たちに理解してもらうにはどうすればよいか」という内向きの企画を考えている。これも評価の高いところでした。やはり、島のことを宣伝して、よその人に「うちの島はいいんですよ」と言えるのは、地元に住んでいる人たちのナマの言葉だと私は考えていますので、気持ちを高めるために、子供たちに、自分より目下の人たちにこの教育を受け継いで行くということを、自らがプレイヤーになって、自分たちがキャストになって、その小学生向けの企画に関わるんだ、というのを提案したのが2つ目の非常に大きい評価の点でした。

あと、最後の課題をいくつか挙げていました。例えば経費の問題。スポンサーはどうするのか、持続性はどうするのか、これは非常に具体的に考えられていたと思います。

私は、観光・旅行業の仕事に携わっておりますので、この課題が高校生であっても、親身になって自分のことのようにこの課題を感じられたっていうのは、プロの目線から見ても非常に具体的で、リアリティがあって、素晴らしい企画。そして課題の提示。それを解決するためには、どうしたらいいかなっていうのを具体的に考えているなあっていう風に思います。

会場の皆さんの中にも、沖永良部島に行ったことのない方もいらっしやると思いますので、西郷隆盛さんのゆかりの地でありますし、何はともあれ西郷さんが沖永良部にどんな影響を与えたのかも大事ですけども、今この高校生のチームが考えたように、沖永良部が西郷さんにすごい影響を与えたんですという視点に立って、ぜひ沖永良部島に皆さんも行かれてみてはどうか、と思います。

この企画がいつか実を結んで、大人ががんばってこの企画を実にして、高校生の皆さんと島の皆さんと、この企画がいつか実現するのを、非常に楽しみにしております。非常に素晴らしい企画でした。お疲れ様でした。ありがとうございました。

### 講 評

滋賀大学 理事・副学長  
須江 雅彦 様



現代社会は、データは「21世紀の石油」とも言われるほど、付加価値を生み出す重要な資源だと考えられています。私たちが日頃使うインターネットとかスマートフォンとかそういったものが便利に使えるというのも、データを使っているから、ということでもあります。世界で今、データに基づく数量的な思考によって課題を解決していく力、統計的な思考力というものが、現代社会を生きる必要な力である、と捉えられていて、正しい判断を支え、新しい知識や価値を生み出す力、イノベーションを生み出すものだと、そういうものにつながるものだと考えられています。

今回の政策アイデアコンテストは、こうした観点から鹿児島県の次世代を担う若者たちに、データを利用して現状を把握・分析し、課題解決につなげることの重要性を認識していただくきっかけになることを狙いの一つとして実施されたものであります。

昨年7月から10月まで募集が行われましたが、高校生12チーム、大学生6チームの応募があって、その後行われた一次審査におきまして10チームが通過し、1月29日に最終審査会に臨み、それぞれ現状分析とともに、課題に立ち向かう若者らしいチャレンジ精神にあふれる政策のプレゼンテーションを行い、大賞、優秀賞、奨励賞の3賞が決定されました。

いずれのチームも、鹿児島島の島々、あるいはいろいろな地域に対する思いやその課題に真剣に取り組んだことがうかがえる内容でありました。

高校生の部で大賞を取ったのは、東京の本郷高校チームでしたが、祖父母との思い出のある鹿児島を応援したいという気持ちで、大隅半島の状況を的確に分析し、不便な地域、このハンデを逆手に取ったサイクリング、農家民泊、インスタ映えする地域の魅力発信で観光客誘致を考える、そういうユニークなものでした。

優秀賞を取った鹿屋養護学校高等部のチームは、県内の観光の状況や人々の意識について、様々なデータを示してニーズや魅力に沿った政策への展開が必要だということを提言する内容でした。

奨励賞の川内商工高校は地域比較を通じたPR作戦を考えるという、若者らしい内容でした。

一方で、大学生の部で入選したのは、いずれも鹿児島大学の学生チームでしたが、大賞を取られたのは、沖永良部島を舞台にしてキャッシュレス・アイランドを構築して、新しい観光のかたちを提案するというものです。

また、優秀賞は子宝の島・徳之島をよりにぎやかにするための提言をしたチームです。

奨励賞は大隅半島という最南端・最先端の地と、時代の最先端のクリエイター、そういう人たちの第二のふるさとをラボというかたちで組み合わせて、未来志向でユニークな振興をはかろう、というチームでした。

全体として、初回でもありリーサスの使い方が難しいところもあって、データ分析という観点では必ずしも十分な内容ではありませんでしたが、これからますます充実してくると思いますし、何よりも地域のことを我が事として考えていこうという、意欲に満ちた内容が数多くあり、今後の展開が楽しみな結果でありました。



本郷高等学校(東京都)  
「鹿児島応援隊」  
西山 知樹  
岩崎 正太郎  
塩谷 航平



鹿児島大学法文学部・農学部  
「りっちゃんとのんちゃん」  
野崎 翔太  
高本 梨花



● テーマ

# 未来へ羽ばたく君たちへ

● ゲスト

- ・ 迫田 孝也 さん (俳優)
- ・ 宮野 陽名 さん (モデル・女優)

【コーディネーター】 中村 朋美 さん (フリーアナウンサー)



● 概要

- ・ 鹿児島島の若者の未来にエールを送るトークセッション



知事コメント

フラッシュモブ

- ・ストリートダンス True's



未来へ向けてテイクオフ！

- ・夢をのせ，想いを込めて，紙飛行機を飛ばそう

